



三井海洋開発株式会社
第34回 定時株主総会

2020年3月19日





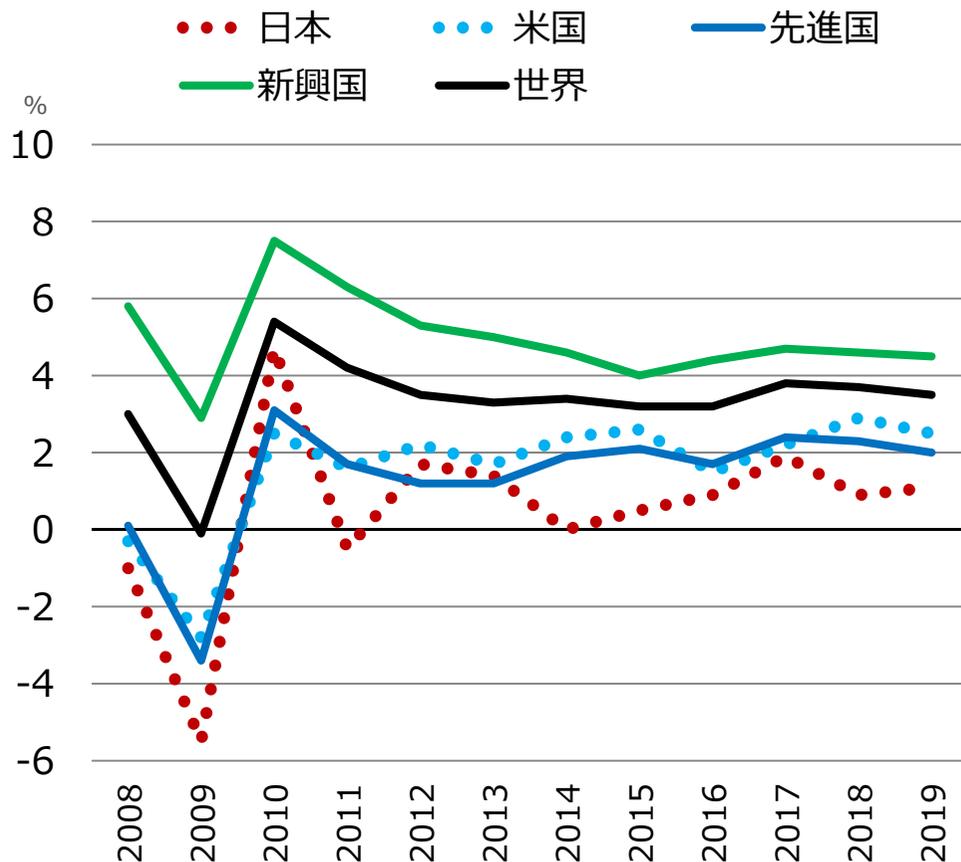
事業の概況

中期経営計画2020の進捗

2019年12月期：経済動向、原油価格

- 景気は緩やかに回復
- 原油価格（WTI）は60ドル台で取引終了

世界 実質GDP（前年比、%）および見通し



原油価格（WTI*）



* : West Texas Intermediate（米国で生産される代表的原油、原油価格）

2019年12月期：新規受注案件



- 3基のFPSOを受注

FPSO Almirante Barroso MV32

顧客 Petrobras

契約形態 EPCI + Time Charter (21年)

鉦区 Búzios Field(ブラジル)

FPSO Barossa

顧客 ConocoPhillips

契約形態 EPCI

鉦区 Barossa Field (オーストラリア)

FPSO Anita Garibaldi MV33

顧客 Petrobras

契約形態 EPCI + Time Charter (25年)

鉦区 Marlim Field (ブラジル)

2019年12月期：建造工事の状況

	FPSO Carioca MV30	FPSO Guanabara MV31	FPSO MIAMTE MV34	FPSO Almirante Barroso MV32	FPSO Anita Garibaldi MV33	FPSO Barossa
顧客	Petrobras	Petrobras	Eni Mexico	Petrobras	Petrobras	ConocoPhillips
契約形態	EPCI + Time Charter (21 年)	EPCI + Time Charter (22 年)	EPCI + Time Charter (15年+1年毎x5の延長オプション)	EPCI + Time Charter (21 年)	EPCI + Time Charter (25 年)	EPCI
引渡し (予定)	2020年	2021年	2021年	2022年	2022年	2023年
鉦区	Sépia	Mero	Area 1 Block	Búzios	Marlim	Barossa
所在地	ブラジル	ブラジル	メキシコ	ブラジル	ブラジル	オーストラリア
水深	2,200 m	2,100 m	32 m	1,900 m	670 m	260 m
貯油能力 生産量	1,400,000 bbls 180,000 bopd 212 mmscfd	1,400,000 bbls 180,000 bopd 424 mmscfd	900,000 bbls 90,000 bopd 75 mmscfd	1,400,000 bbls 150,000 bopd 212 mmscfd	1,000,000 bbls 80,000 bopd 248 mmscfd	NA 600 mmscfd
進捗状況					2019年 第4四半期 受注	2019年 第4四半期 受注

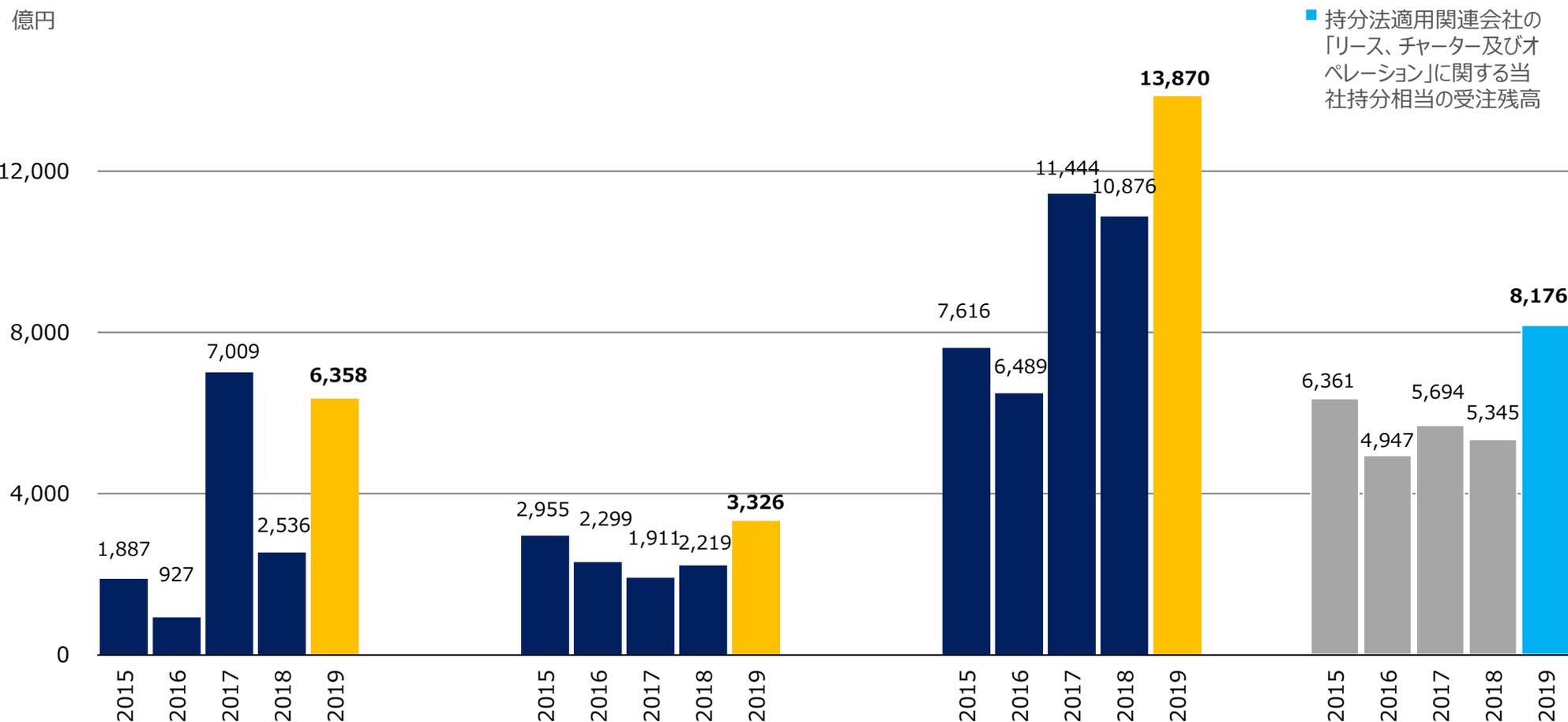
2019年12月期：受注高・売上高・受注残高

● 受注高は6,358億円（前年比150.7%増）、売上高は3,326億円（前年比49.9%増）

受注高

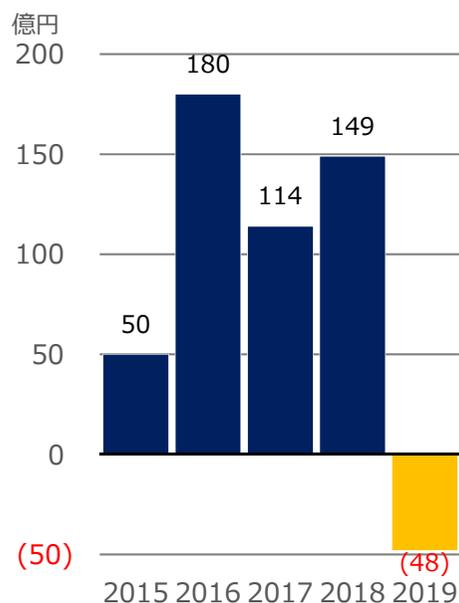
売上高

受注残高

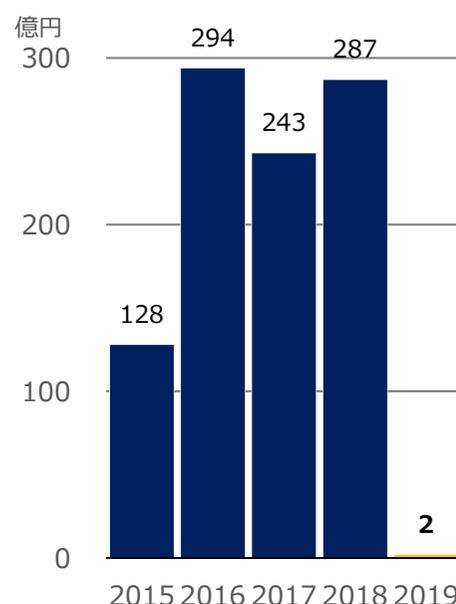


2019年12月期：業績の概況

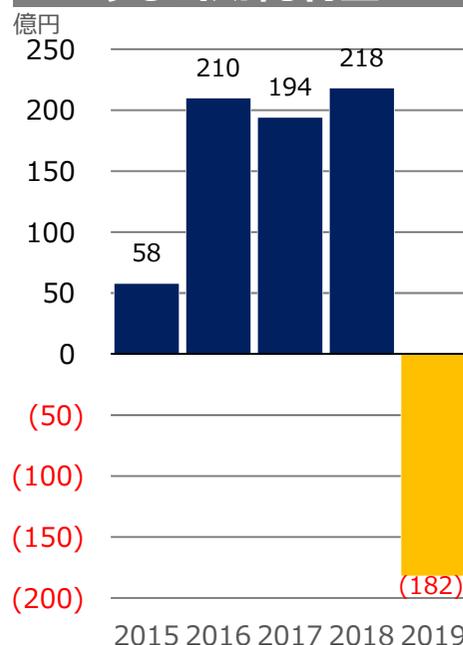
営業利益



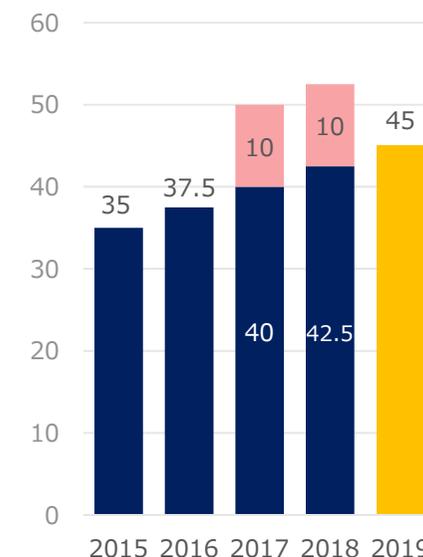
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



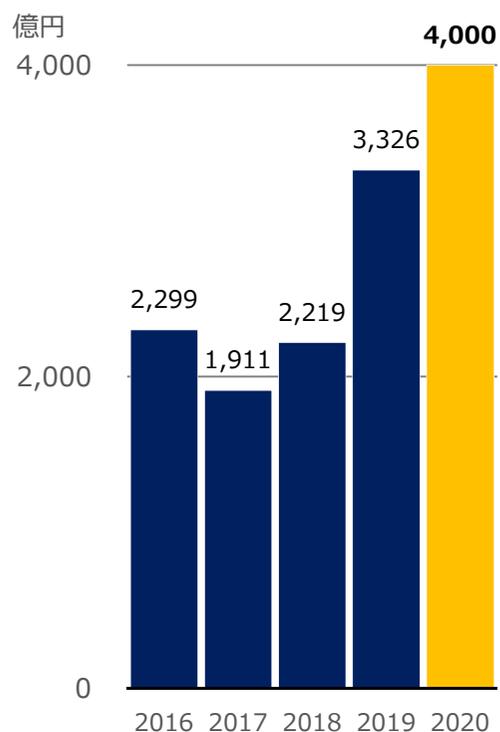
一株あたり配当額



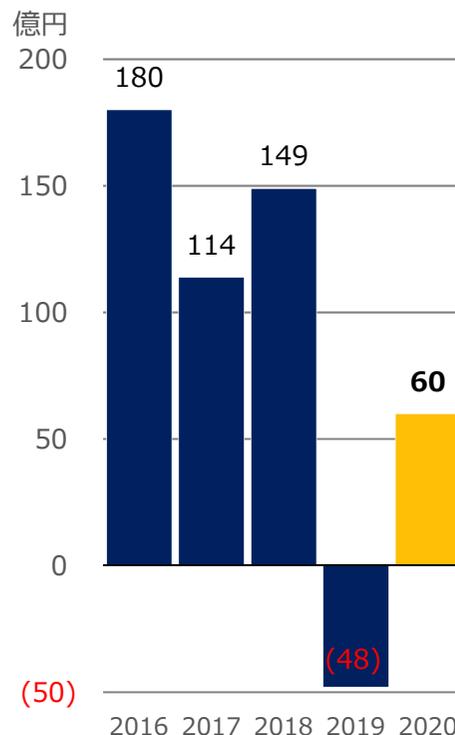
- 親会社株主に帰属する当期純損失は182億円
- 年間配当は通期で1株当たり45円（本総会決議後）
記念配当・特別配当を除く、普通配当において15期連続増配
（2017年は記念配当、2018年は特別配当をそれぞれ実施）
- 昨年まで順調に推移したものの、今期のROEは-13.1%となりました

2020年12月期：業績予想

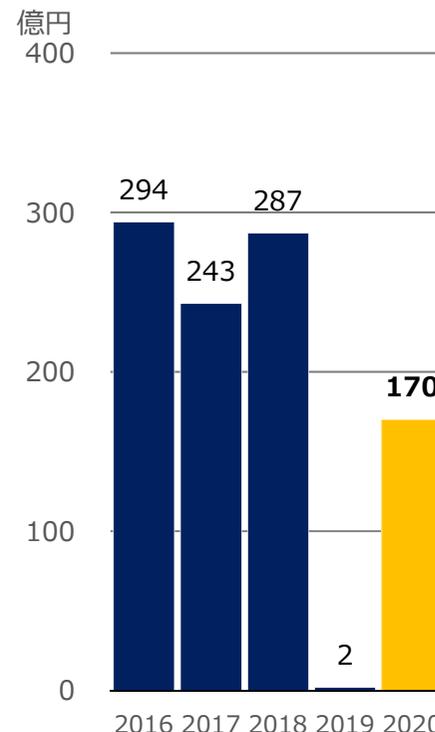
売上高



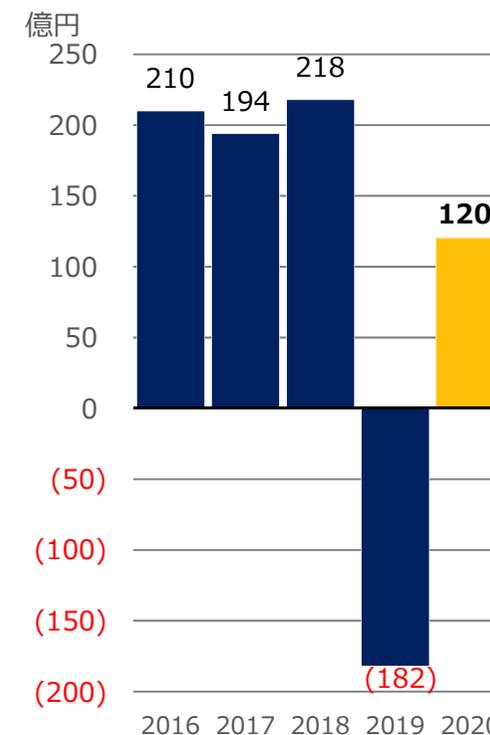
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



- 建造工事の増加等により、売上は4,000億円と**過去最高を見込む**
- ブラジルで操業中のFPSOの特別修繕活動により、営業利益は60億円に止まる

事業の概況

中期経営計画2020の進捗

A decorative horizontal bar with a blue-to-red gradient, positioned below the text.

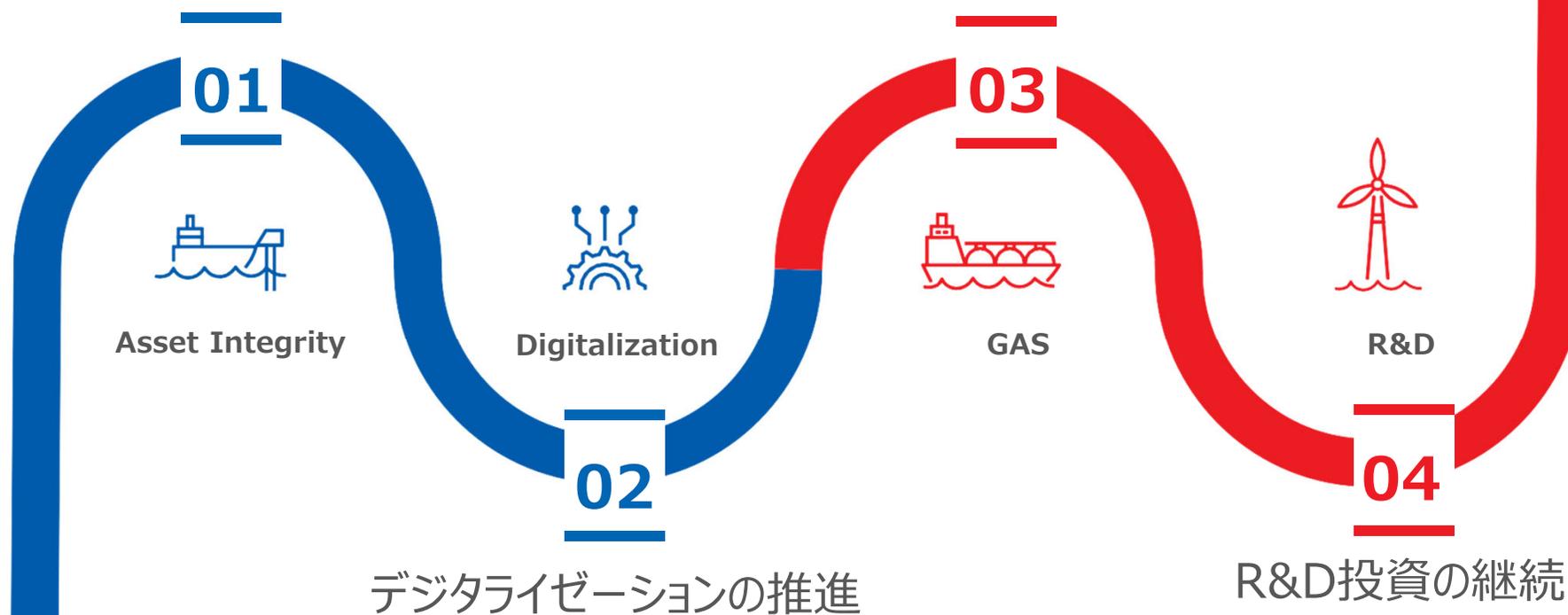
中期経営計画2020：中期経営計画の進捗

LIFECYCLE VALUEの最大化

将来に向けた新領域開発

アセットインテグリティの進化

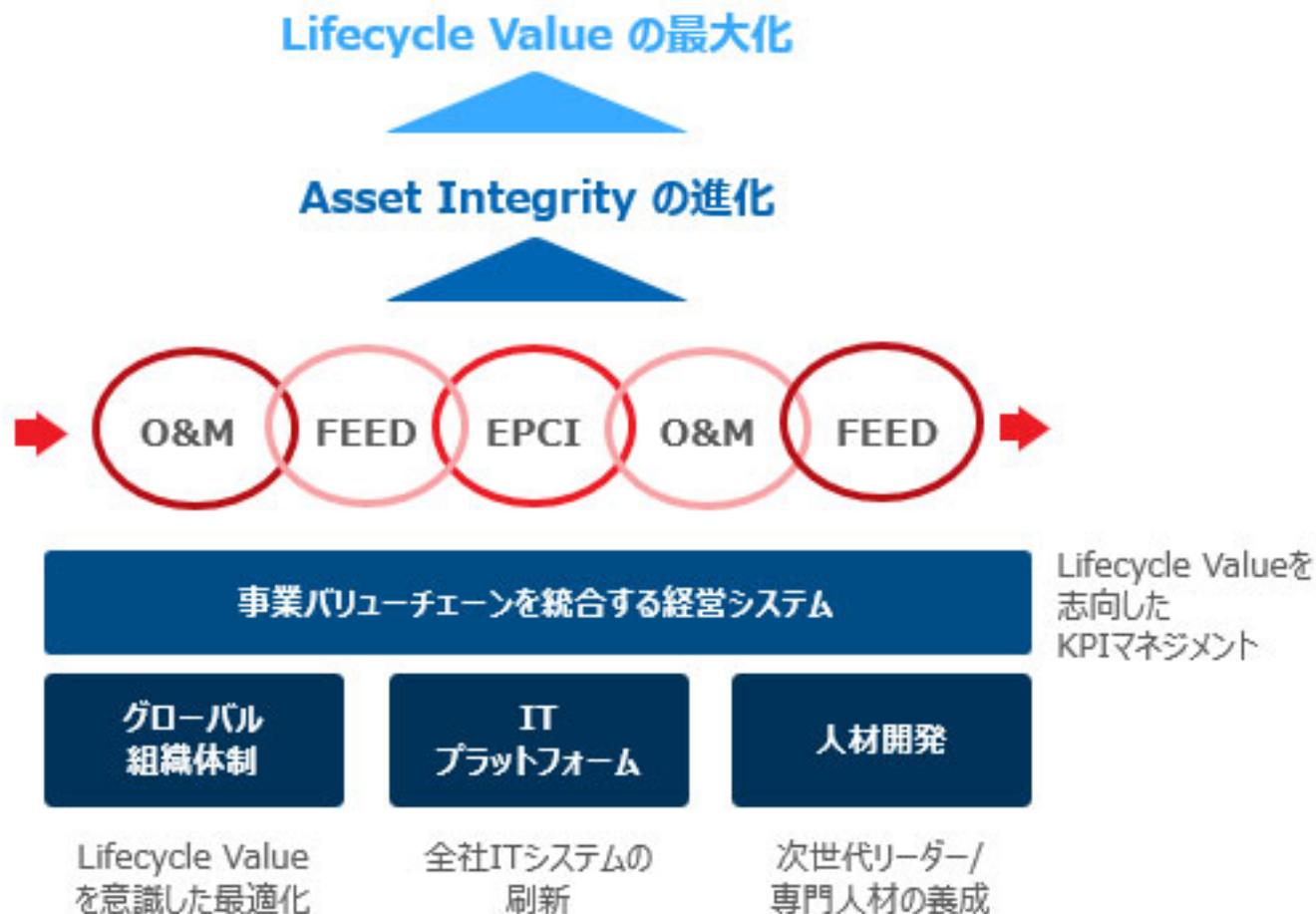
ガスマーケットへの本格参入



LIFECYCLE VALUE :FPSOの設計～操業の全期間を通して、当社が社会、顧客、パートナー、当社株主等のステークホルダーに提供する価値。

Asset Integrity: 長期安定生産に適した設計、設備及びサービスの提供。

中期経営計画2020：戦略1 アセットインテグリティの進化



Asset Integrityの進化

MODEC NOAH



M350



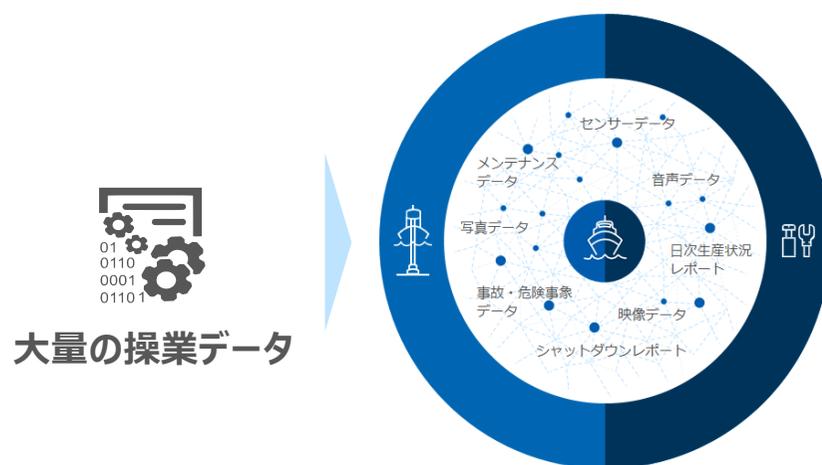
- 次世代FPSO用新造船体を開発
- 顧客の求めるトップサイドの大型化や耐用年数の長期化といった要求に対応
- M350は、ConocoPhillips社、Equinor社より合計2件受注

中期経営計画2020：戦略2 デジタイゼーションの推進

膨大な操業データ = 当社資産。
 Lifecycle Value最大化のため、全社でデジタイゼーションを推進。

人工知能等を用いたデータ分析

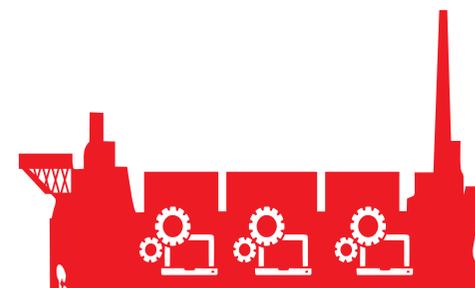
IoT活用による業務効率最大化



修理・メンテコストの削減
 安全・安定運転の達成
 アップタイムの向上

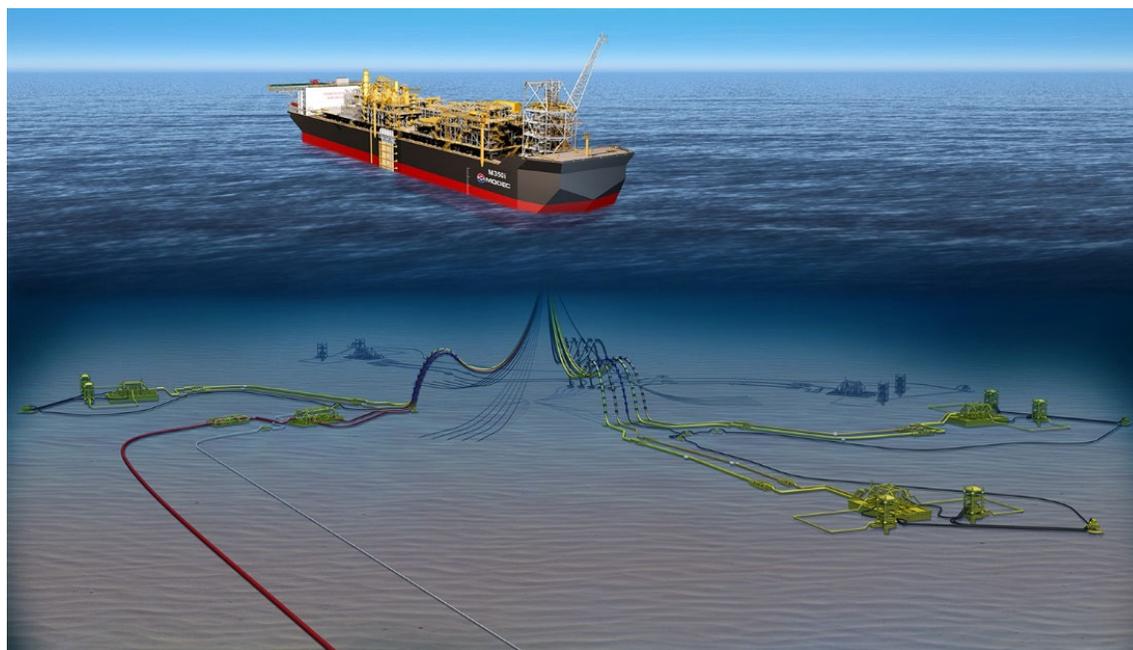
FPSOの設計・EPCI最適化

将来はロボティクス導入による
 操業の段階的自動化も視野に。



ブラジル：7基
 ガーナ：2基

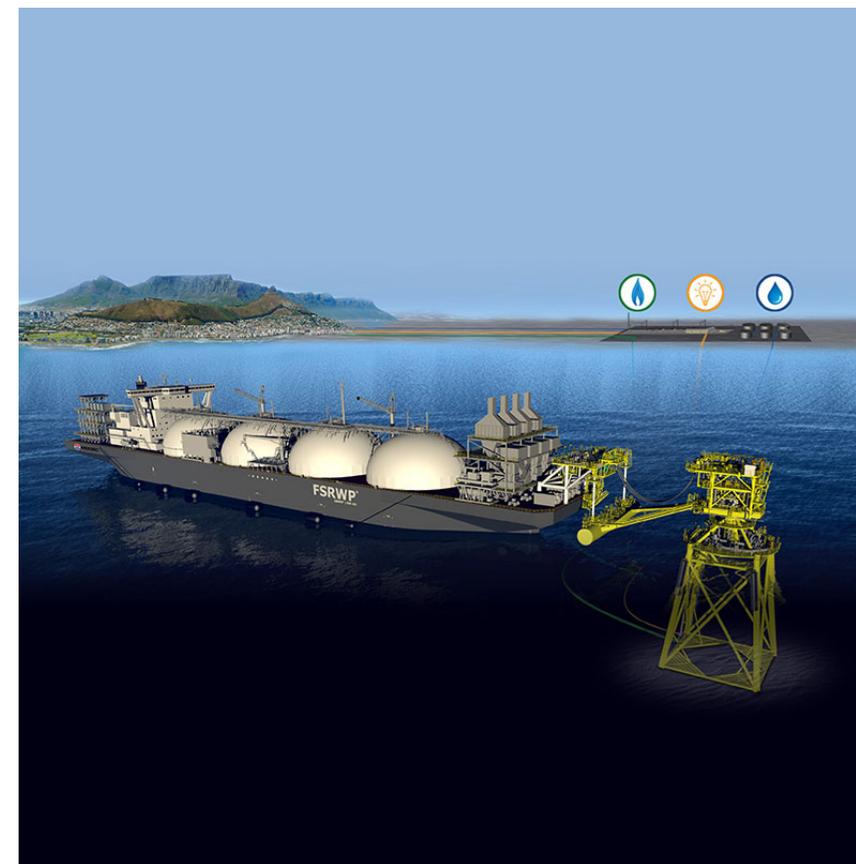
世界経済フォーラムで第4次産業革命を
 リードする最も先進的な工場に認定



大型ガスFPSO

Floating Production, Storage & Offloading System

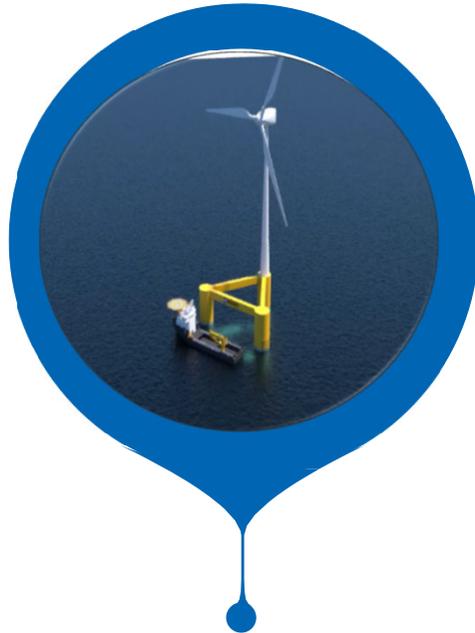
浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備



FSRWP®

Floating Storage, Regasification, Water and Power

浮体式LNG貯蔵再ガス化発電淡水化設備



浮体式洋上風力発電

新たな事業分野とすべく、当社独自の浮体・係留システム開発を推進



海底鉱物資源開発

国が進めるプロジェクトにメインプレイヤーとして参画



船体補修技術

複合材料（炭素繊維）を利用した、操業を継続しながら少人数・短期間で安全な船体補修法の開発・実用化



MODEC

